

「道德時間」の構想

授業日 平成21年6月 日(水)3年 組

授業者 寺 田 勉

初提案 H21.4.27

主題名 「環境保全・モットイナイ精神」4 - 10

資料名 「賞味期限切れだって、食べられる」(H21.4.18 朝日新聞)
～売れ残った商品、捨てるのモットイナイ～

展開のポイント(ねらい)

賞味期限の改ざんなどの事件が多発し、社会的な批判や関心が高まっている。そんな中、賞味期限切れの商品を「モットイナイ商品」として安く販売しているスーパーの新聞記事を紹介し、「賞味期限」「安心安全」「モットイナイ精神」などの矛盾する価値観や判断基準について葛藤させたい。

資料提示後の生徒の反応

正規の賞味期限切り商品の流通があってもいい。消費者の選択肢が多い方がいい。不安はないか？

板書計画

賞味期限切れ商品

その扱いは？

・我が家では？

・お店では？

・お店ではなぜ処分するの？

・お店で売ったらどうなる？

・とがめられない売り方はないの？

「モットイナイ商品」

「賞味期限切れだって、食べられる」

どう思う？

・「日付アレルギー」

・「モットイナイ精神」

・このお店の経営者の考え方

・近くにあってたら利用する？

地球規模で考えて

足下で行動する「

発問及び流れ

賞味期限の改ざん事件が多発して
社会問題になっている。

・家や店ではどう扱われる？

・お店が「処分すること」に抵抗はないか？
・何か工夫ができないか？

資料範読

堂々と売っている店の新聞記事を紹介する。
文章にマーケティングしながら聞く。
記事の感想を書く。

発表し合う。

意見交換する。

学習後の感想を書く

発表する。